

○ 精算判定処理ボード

西日本旅客鉄道株式会社の自動精算機用精算判定処理ボードを(株)ジェイアール西日本テクノスに納入した。

ICOCAおよびPiTaPa相互利用開始に合わせて精算判定処理の機能アップに対応するために更新するもので、新精算判定処理ボードの特徴は以下のとおりである。

表1に精算判定処理ボード仕様、**図1**に精算判定処理ボード外観を示す。

- (1) 現行精算判定処理ボードとハードウェア互換性を図る。
- (2) 特殊処理等の複雑な判定にも短時間でできるよう、最新のハードウェアにより高速処理を実現する。
- (3) 今後の機能拡張に対応できるようメモリ容量を増強する。
- (4) 判定パターンの解析等のため、判定処理ログをCFカードへ記録可能にする。(最大20,000件)

表1 精算判定処理ボード仕様

精算対象券種	普通乗車券, 回数券, 定期券, SFカード, ICカード(ICOCAおよびPiTaPa)
判定内容	期間判定, 区間判定, 精算判定, 不正判定
組合わせ判定	最大3枚までの券の組合わせ 最大2区間精算/処理
運賃算出	最低運賃または基本乗車経路による運賃算出
ボード形状	VME規格準拠(ダブルハイト)

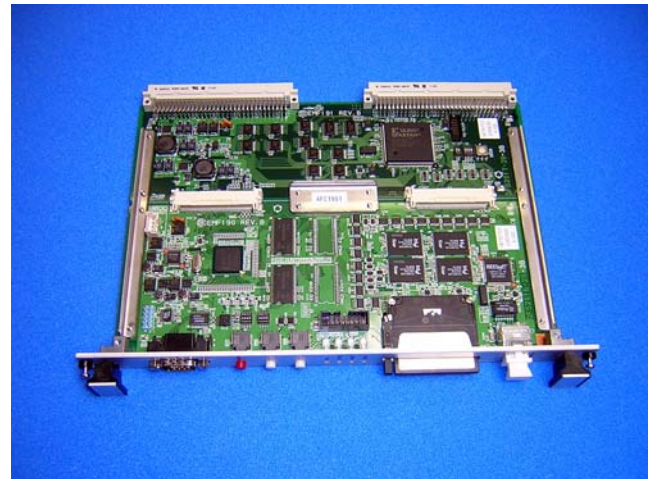


図1 精算判定処理ボード外観